



陰陽五行論塾Contents

六十花甲子(辛)

六十花甲子

辛→牽牛星の特質(名誉名声、責任感)

器は柔鋭(堅実、自尊心、特別意識)

- 辛は貴重品

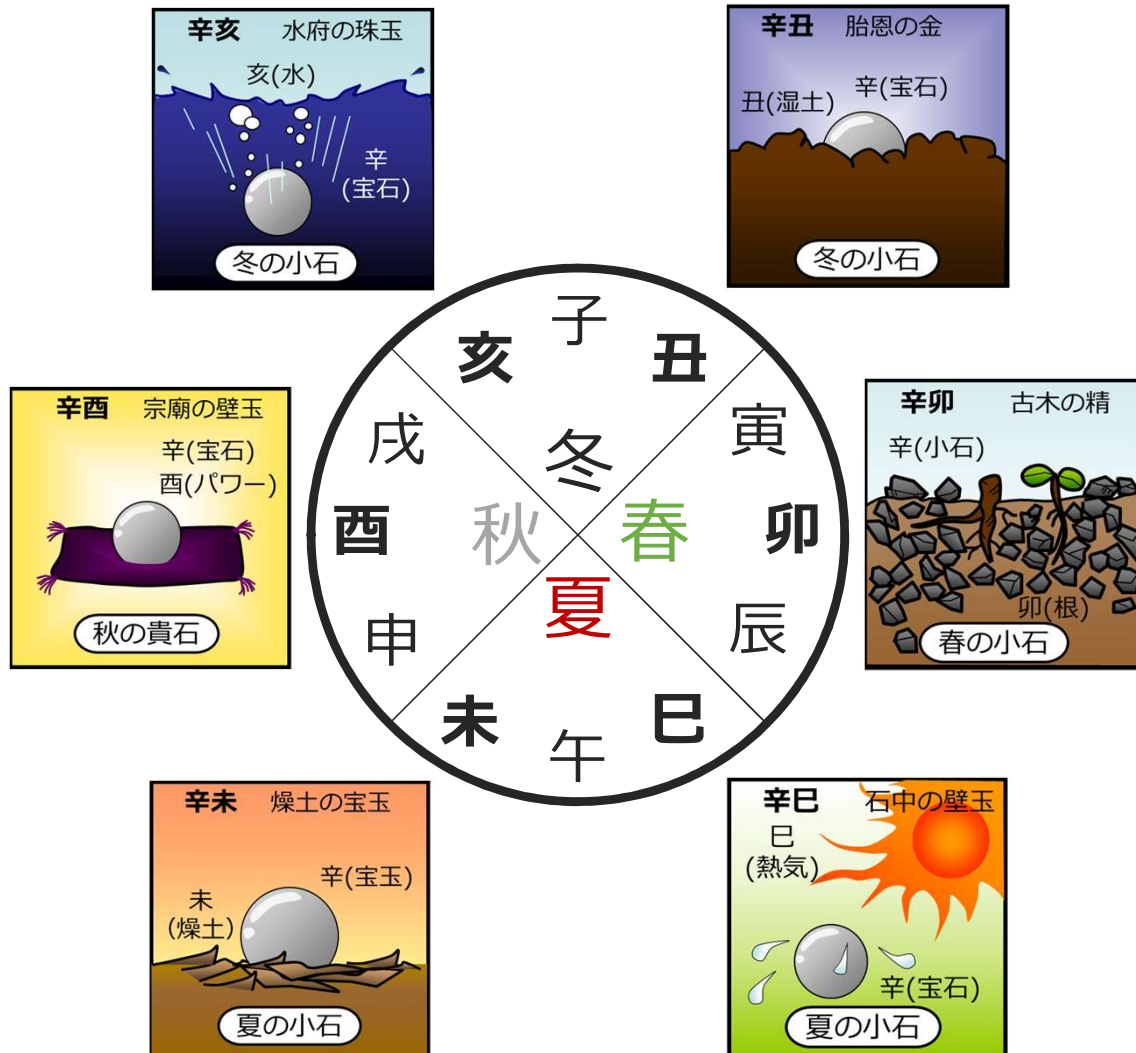


宝石(自分が主役。特別意識を持っている)

- 攻撃本能だが脆い側面も有している。
- いつも手を掛けないと、美しさを保って
られない。

辛の種類

同じ辛でも組み合わせる地支によって特徴が異なる。



No.	名称	別名
8	辛未	燥土の宝玉
18	辛巳	石中の壁玉
28	辛卯	古木の精
38	辛丑	胎恩の金
48	辛亥	水府の珠玉
58	辛酉	宗廟の壁玉

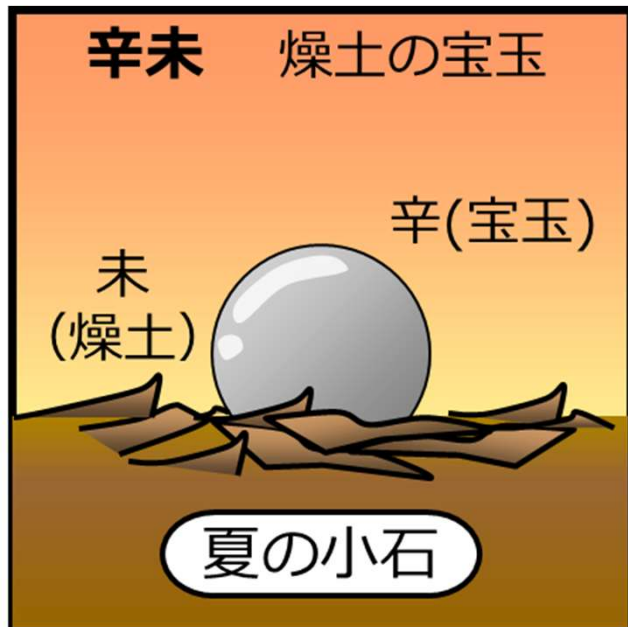
辛未 ～ 燥土の宝玉

辛_金 未_土 → 天堂星(8) → 温順、老成の風格(大人びている)

丁_火 → 車騎星

乙_木 → 禄存星

己_土 → 龍高星



ろうせい
老星

一生人の世話を引き受け、面倒を見て暮らす人。夏玉とも云い、自尊心が強いがそれが内に籠り、時の流れに順応していく。人を観察する能力に優れ、結果的に敵の少ない人生となる。

辛未 ～ 燥土の宝玉

- 辛未日柱は、座下が燥土(乾燥した土)なので土性が金性を生じ難い。宝玉が土にあってはこれを洗わなければ、輝きが放てない。従って癸・壬の陶洗※の存在が必要。

※ 陶洗(とうせん)とは宝石や貴金属を磨き洗うこと。
乾いた土を洗い流し本質を磨く。

辛未日柱に限り、水性が功名を得る。
→壬・癸の存在が名誉・名声を支配する要素となる。

辛 + 壬 =	調舒星	辛未にとっては鳳閣星・調舒星が 本来の牽牛星(名誉・名声)の役目を果たす。
辛 + 癸 =	鳳閣星	

また、辛未日柱は常に真水(癸)で磨き輝かすことで価値ある存在となる。

具体的な行動として、話をする、遊びを人生の中に取り入れる(鳳閣星)

辛未 ～ 燥土の宝玉

- 座下の未を冲で壊す丑の存在は有り難い。
また丑・辰の湿土も有り難い。

【例】

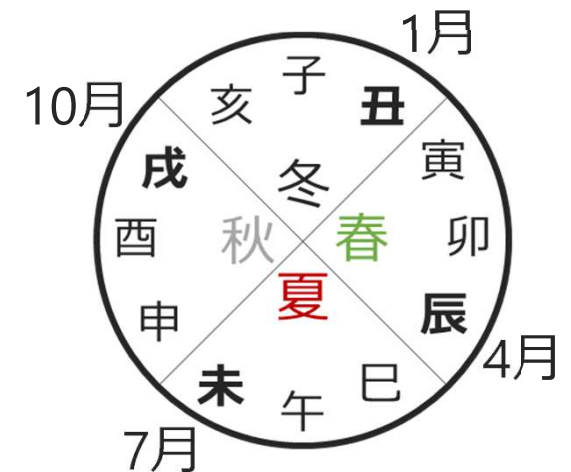
辛 癸 壬
未 丑 辰

未－丑の冲で燥土を壊し、湿土の辰
他に癸・壬で辛の埃を洗い流す。

冲

土の種類と特徴

土	季節	月	二十八元			湿/燥	冷/暖
			初元	中元	本元		
丑	冬	1月	癸	辛	己	湿土	冷土
辰	春	4月	乙	癸	戊	湿土	暖土
未	夏	7月	丁	乙	己	燥土	暖土
戌	秋	10月	辛	丁	戊	燥土	冷土



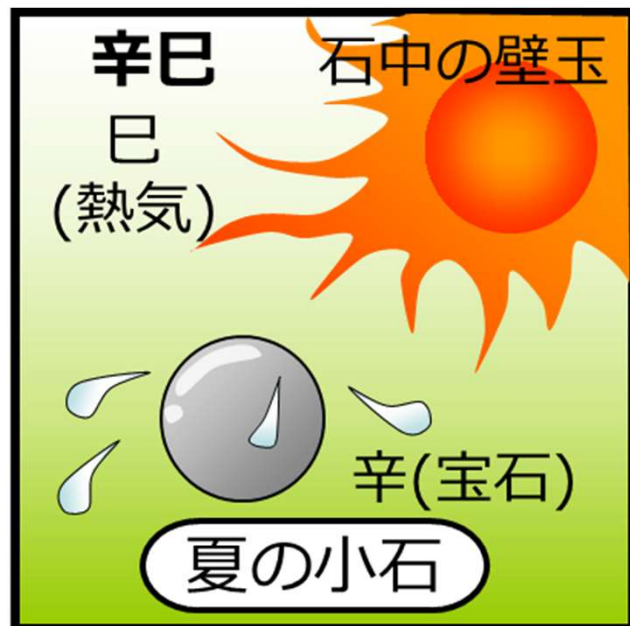
辛巳 ～ 石中の壁玉

辛_金 巳_火 ✕ 天極星(2) → 企画者・参謀の役割

戊_土 → 玉堂星

庚_金 → 石門星

丙_火 → 牽牛星



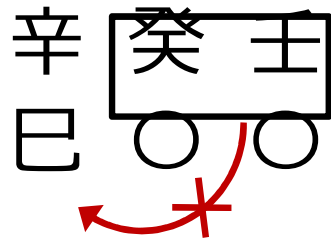
きざ 貴座

貴に座する。品格・気位の高い人。
南方の宝玉(庶民性の中の宝)。
上品な事や上品なムードを好み
何かを楽しむ気質を持つ。
学芸に長じ、企画力が高い。

辛巳 ～ 石中の壁玉

- 自らは死地(天極)に座し、壬・癸で洗われる事で自身の光を発揮する。

【例】



水の存在が巳の火性を剋してくれる。
自身の存在価値を世に出すことができる。

辛巳日柱にとって、他に壬・癸の透干があれば
「雨後吐彩(うごとさい)」(主に癸の場合)と云い
若年期にどのような苦勞をしても、後年に必ず
大成する人となる。

辛巳 ～ 石中の壁玉

- 亥の冲動を吉とし、亥水は一つの神の役目でもある(辛巳にとって身を保つ)。学芸に長じ、学者・芸術家で大成する。組織の中では、企画力(玉堂星)に優れた人物となる。

【例】 辛 癸 壬 現実社会の中であれば、企画室や
巳 亥 ○ コンサルティング業務など
 └─┬─┘ 知的産業に属する事で成功。
 冲

- 辛巳日柱は、「白蠟(はくろう)の金」とも云い見かけが弱々しく見える人が多く、体力を使う仕事には向かない。

辛巳 ～ 石中の壁玉

- 六十干支中、最も接し難い人。
周りの人は貴重品として接してあげること。
学問をしっかりと身に付けて育てるのが良い。

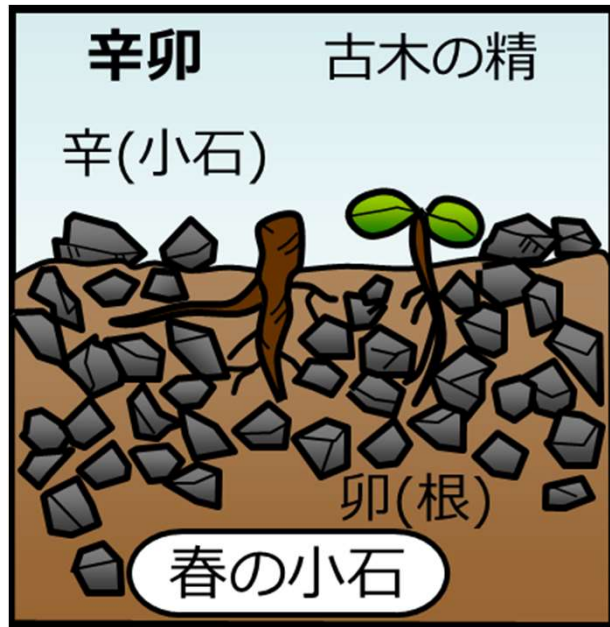
辛巳 金 火

最弱の辛の立場(常に剋されている)。
土があると生じられ強くなるが
多すぎると埋没する恐れあり。
そのため、水と火のバランスが大切。

- * さげすみの花嫁
嫁ぎ先からさげすまされる、結婚に歪みが出る。
- * 九流の術士
占術・霊学・哲学を得意とする修行者。

辛卯 ～ 古木の精

辛_金 卯_木 天馳星(1)
乙_木 → 禄存星



春の宝石

一流品好み。一流品を身に着けるが
バランスが取れていない。六親に
頼ることが出来ない、自立創家の
干支。誰にも頼らず泥土の中より
自分一代で立ち上がる干支。

辛卯 ～ 古木の精

- この干支のみ、自立創家の干支と見る。

辛卯は午未天中殺ではあるが、初代運とみなす。
一代目の干支と定めてあり、誰にも頼らず自分
一代で立ち上がる干支。
六親には頼れない。

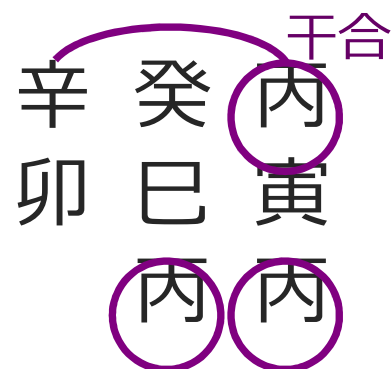
- 辛(小刀)が座下から伸びてくる卯(草木の根)を
切り配偶者剋しとなる。

女性の場合、結婚後夫の運の伸びを止める働きをする。

辛卯 ～ 古木の精

- 一代目の人であれば、女難の相があっても成功するが、子供の代で甚だしく家系の乱れとなる。

【例】



配偶者多過
(女難の相)

辛丑 ～ 胎恩の金

辛_金 天印星(6)
丑_土
癸_水 → 鳳閣星
辛_金 → 貫索星
己_土 → 龍高星



いんでん
陰田

頭が良い、聡明、知恵者。
だが、性格が暗い人。
冬の冷たい湿った土の
上の宝玉の姿。

辛丑 ～ 胎恩の金

- 辛丑日柱で一人っ子の場合、本人の良い面が目立たなくなる。

丑(湿った土)に座しているので
凍土であれば、誰にも気付かれず存在するのみ。
ぬかるみであれば泥土に埋没する恐れがある。

改良 兄弟のような親友を作ること

【例1】 辛 癸 癸
丑 丑 亥

冬生まれの凍土
誰にも気付かれない存在

【例2】 辛 癸 壬
丑 亥 申

座下の丑が泥濘となり
辛が埋没する恐れあり

辛丑 ～ 胎恩の金

- 冬又は春生まれは、壬・癸(調舒・鳳閣)が凶となる。

【例】 辛 癸 壬 寒い時期の水性は丑を
 丑 卯 ○ 凍土、又は泥沼化させる。

- 夏又は秋生まれは、壬・癸(調舒・鳳閣)が吉となる。

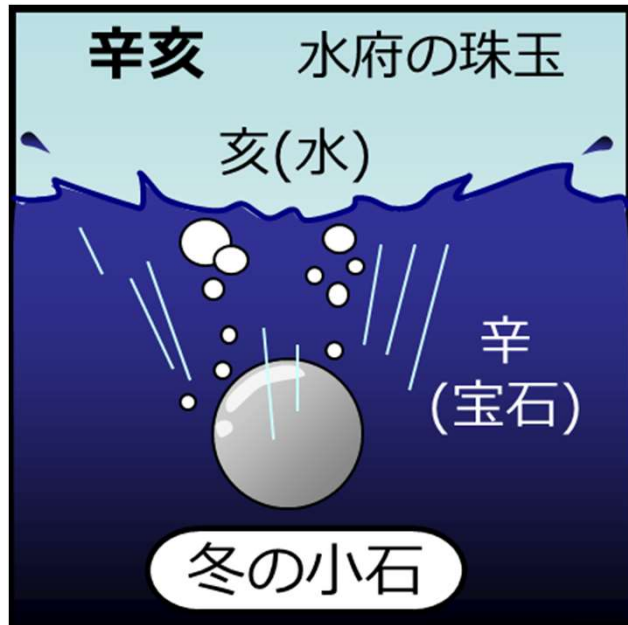
【例】 辛 壬 癸
 丑 午 ○

夏・秋生まれの場合、洩気となる孤独の星が表出することは喜びとなる。自然体に生きる星・孤独の星が人生を安定させ、人生の安定が結婚にも無理なく進み、家庭運にも恵まれ、結果的に孤独の人生にはならない。例えば、家庭に恵まれいても、一人で居るのが好きであったり、孤独を好む性格が出たとしても、運命的な孤独にはならない。

辛	→	壬 = 調舒星 (孤独の星)
辛	→	癸 = 鳳閣星 (自然体に生きる星)

辛亥 ～ 水府の珠玉 (しゅぎよく)

辛亥 金 天恍星(7)
亥 水
甲 木 → 司禄星
壬 水 → 調舒星



こぎよくせき 湖玉石

北方の水に座す宝玉。他人の力を借りて自分が伸びる人。人に認められないとダメな人、軍師・参謀の才能

辛亥 ～ 水府の珠玉 (しゅぎよく)

- 寅の支合にあえば、亥水は変化し、金を拾い上げる篩(さい)となる。

【例】

辛 ○ ○
亥 ○ 寅

亥一寅の支合で亥水が化木となり
辛が水没しなくなる。



支合(化木)

- 異常干支のひとつ。
異常干支は全て神の使いである。
- 辛亥は整形はNG。
肉体面で傷が残ってしまうから。

辛亥 ～ 水府の珠玉 (しゅぎよく)

- 辛亥日柱で秋月(酉月＝月支元命・天禄星)生まれであれば、身強の人となり、特殊な攻撃性(辛の気)と保守的(天禄星)の心を所有し、人生の成功をつかむ。

辛 ○ ○
亥 酉 ○

職業で考えると医学・薬学の
世界で成功を収める。

└─ 天禄星

【例1】

辛 癸 壬
亥 亥 子

水多旺の宿命
辛が埋没する。
世に出ない
役に立たない

【例2】

辛 壬 丁
亥 子 巳

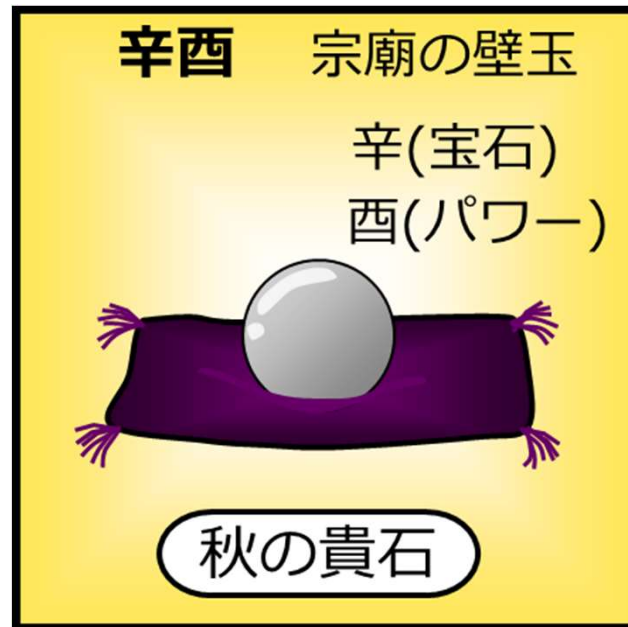
干合
冲

水多旺の宿命
亥-巳の对冲と
壬-丁の干合
(火性が弱い)
辛の価値が出難い

辛酉 ～ 宗廟 (そうびょう) の壁玉

辛_金) 天禄星(11)
酉_金
辛_金 → 貫索星

女性は、頭が良く、結婚を
しない限り運が良い。
男性は、前進力に欠ける。



はくせき

白石

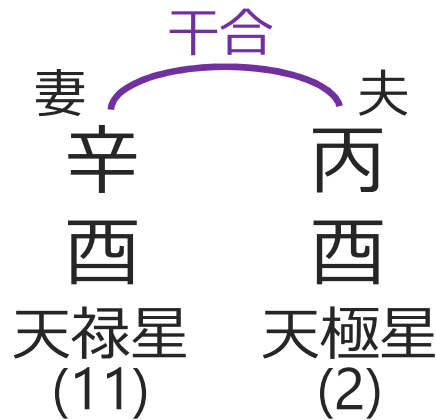
仏の石、物事が無になることを意味する。秋玉とも云い、戦い・争いの準備を意味する。経済と科学のまとめ役を果たす。特殊な才能を身につけて大成する。

辛酉 ～ 宗廟 (そうびょう) の壁玉

- 特殊な才能を身につけて大成する者が多く人間としての次元は最高。
- 壬の透干を吉とし、戊・己が透干しなければ※才気に満ち、行動は正常となる。
※ 壬のみだと水で綺麗に洗われるが、土性が混じった水では返って汚くなってしまう。
- 男女共容姿美しき者が多い。

辛酉 ～ 宗廟 (そうびょう) の壁玉

- 特に女性は夫を軽蔑する傾向あり、お産の患い※を見る。
※お産の患いに関しては金性の共通一般論。



辛酉は、元来次元が高く天禄星である。力量が強く、批判力があり、自分の方が常に上にあると云う意識が出やすい。天極星の夫を自分より弱いと見てしまう。

- 男性は前進力に欠ける。
 - …辛酉自体が美しい飾り物だから。
(大切に飾られている宝石。自分から動くことがない)